

2022年11月17日

AGC、ノザワと協同で外壁への太陽光パネル設置工法を開発

—事務所など、建物のエネルギー自給率向上に貢献—

AGC（AGC株式会社、本社：東京、社長：平井良典）は、壁材メーカーのノザワ*¹（株式会社ノザワ、本社：神戸、社長：野澤 俊也）と協同で、建物の壁で発電を可能とする「アスロックレールファスナー太陽光パネル設置工法」(仮称)を開発しました(特許出願中)。太陽光パネルを設置する場所の不足が課題となる中、同設置工法の推進により、建物のエネルギー自給率向上に貢献します。今後、事務所などの建物での実用化にむけ、試験販売を行い、2023年中の販売開始を目指します。

「アスロックレールファスナー太陽光パネル設置工法」(仮称)は、主に事務所などの壁材として使用される押出成形セメント板に、太陽光パネルを設置する工法です。ノザワの外壁パネル事業のノウハウとAGCグループのガラス施工および太陽光発電ガラス(サンジュール®*²)事業のノウハウを活かし、新たに開発しました。既に、地震や風などの自然災害に対する安全性の確認を完了し、今後は本格的な販売開始に向けて準備を進めます。



「アスロックレールファスナー太陽光パネル設置工法」(仮称)により
太陽光パネルを壁付けした建物のイメージ図



実施した試験の様子

AGCグループは、経営方針 **AGC plus 2.0**のもと、世の中に「安心・安全・快適」を、お客様に「新たな価値・機能」を、プラスする製品づくりに取り組んでいます。当社グループは、建物のガラス部位で発電を行うサンジュール®に加え、本設置工法により建物の外壁での発電を推進し、建物のエネルギー自給率の向上に努めます。今後もカーボンニュートラル社会の実現に貢献できる、新たなガラスとしての可能性をご提供できるよう努めます。

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC株式会社 広報・IR 部長 小川 知香子

(担当：中尾 TEL: 03-3218-5603 [お問い合わせフォーム](#))

個人情報 は 当社 プライバシー ポリシー に 従って お取扱い を させていただきます。

■ 注釈

*¹ ノザワ：株式会社ノザワは、押出成形セメント製品(アスロック・住宅用軽量外壁材)、スレート、不燃混和材、耐火被覆材(コーベックス)等の製造・販売等を行う押出成形セメント板のトップメーカー。

本技術のベースとなるアスロックレースファスナー工法の製品ページ

([アスロック商品一覧](#) | [押出成形セメント板「アスロック」](#) | [株式会社ノザワ \(asloc.co.jp\)](#))

*² サンジュール®：AGCグループが施工・販売する、合わせガラスタイプを基本とした採光型の太陽光発電ガラスです。ガラスの間に太陽光発電セルを封入し、キャンピーやファサードのガラスで創エネが可能です。ガラスの特長を活かした解放感と熱遮蔽性能を兼ね備え、自由なセル配置により意匠性の高いデザインが可能です。2000年から販売を開始し、施工実績は250件を超えます。昨今、様々な場所で環境への配慮が求められている中、ZEBやカーボンニュートラル社会の実現に貢献するサンジュールは、新たなガラスの可能性を提供していきます。

製品ホームページ ([サンジュール - AGC Glass Plaza](#))

◎本件に関するお問い合わせ先：

A G C株式会社 広報・IR 部長 小川 知香子

(担当：中尾 TEL: 03-3218-5603 [お問い合わせフォーム](#))

個人情報 は当社プライバシーポリシーに従ってお取扱いをさせていただきます。